

令和5年度 第1回 東海村歴史と未来の交流館運営協議会会議録

| | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 開催日時 | 令和5年5月17日(水) 18時00分から19時30分まで |
| 2 | 場所 | 東海村歴史と未来の交流館 活動室2 |
| 3 | 出席者 (敬称略) | <p><委員> 小野寺淳, 佐藤孝博, 萩谷信輝, 山本美恵子, 小金沢知己, 横山裕之, 川崎寿則, 大口武文, 鈴木絵美</p> <p><事務局> 河西徹雄(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長兼東海村歴史と未来の交流館長), 安嶋隆(東海村歴史と未来の交流館副館長兼博物館長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 藤田敬(生涯学習課課長補佐), 安美穂(生涯学習課課長補佐)</p> |
| 4 | 欠席者 (敬称略) | 塩谷修 |
| 5 | 公開又は 非公開の別 | 公開 |
| 6 | 非公開の理由 | — |
| 7 | 協議・説明事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の事業報告について ・令和5年度の事業計画(案)について |
| 8 | 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・【資料①】令和4年度東海村歴史と未来の交流館年報(案) ・【資料②】令和5年度東海村歴史と未来の交流館事業計画(案) |
| 9 | 発言内容 | <p>■議事進行：小野寺会長</p> <p>(1) 令和4年度の事業報告について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料①</p> <p>会長) ジョイント授業(10頁)について, 各学校で参加者数にばらつきがあるが, 学校の規模が違うと思うので全校児童数や参加割合(全校児童数に対する参加者数)を記載してもよい。事務局) 検討します。</p> <p>委員) 館の運営経費(3頁)の項目で施設管理費の負担金の額を確認してほしい。予算執行の在り方として決算額と予算額に差額が生じているが, これで問題ないのか。</p> <p>事務局) 金額は確認し, 修正します。予算の執行は予算の範囲内で支出することになるので問題はない。なお, 電気料の高騰に</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>より光熱水費については、年度途中で補正予算を組んで増額している。</p> <p>委員) まる博講において、地形や地質（地学関係）の講座の企画に期待している。人材（学芸員）がいない開催できないと思うが、地質専門の学芸員はいるのか。</p> <p>事務局) いない。地質関係の講座を開催する場合は、大学や関係団体に指導者の派遣を依頼する。平成29年度及び平成30年度には化石発掘（地層剥ぎ取り）の講座を開催したが、その時は村の自然調査会（地質部門）の会員に講師をお願いした。</p> <p>委員) 当時小学5年生の児童が化石を発見したのを覚えている。</p> <p>会長) 茨城県は地質学者が多い地域。指導者が必要なら紹介できるので相談してほしい。</p> <p>委員) 企画展示（8頁）の「時の旅人」は、実際に体験してみて楽しかった。使用した写真は現在どのくらい集まっているのか。今後も自宅等に埋もれている写真や資料を継続して集めてほしい。企画展ではなく常設展で展示できれば村民の興味も膨らみ、来館者も増えるのではないか。子どもも楽しめる。データの収集を継続し、常設での展示も検討してほしい。</p> <p>事務局) 現在資料の収集は継続していない。写真の枚数も正確に把握していないが、収集、活用方法について検討する。</p> <p>会長) それぞれの企画展の来場者は集計しているか。どの企画展に人気があったのかを把握するのもよい。</p> <p>事務局) 企画展ごとの来場者数の集計について検討する。</p> <p>委員) 入館者数の把握はどのように行っているのか。</p> <p>事務局) 施設の入口にセンサーが設置してあり、自動的にカウントしている。</p> <p>委員) まる博の事業内容は大変素晴らしい。事業内容を検討する場を設けているのか。</p> <p>事務局) 年に2回、事業内容を共有する場を設けており、3月に2回目の開催を予定している。</p> <p>委員) 未就学児対象の芸術鑑賞会（16頁）は年1回の開催か。未就学児対象の事業を増やしてほしい。幼少期に子どもがイベ</p> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| | <p>ント等に参加すれば交流館のファンが増える。</p> <p>事務局) 未就学児対象の芸術鑑賞会は1回のみである。基本的には小中学生を対象としている事業ではあるが、今後は未就学児や親子参加の実施についても検討していきたい。</p> <p>会 長) 年報案は大きな変更がないので、事務局で修正後に、委員等へ配付する形とする。</p> <p>【結果：令和4年度の事業報告】 承認</p> <p>(2) 令和5年度の事業計画(案)について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料②</p> <p>委 員) 博物館事業において調査事業は大きなポイントであるが、まる博事業の中に民俗資料調査の講座がない。歴史資料調査の項目(講座)を明記したほうがよい。今から取り組んでおかないと資料の収集が困難になる。</p> <p>会 長) 歴史資料の調査については23頁に記載があるが、内容を具体的に記載したほうがよい。</p> <p>委 員) 交流館は事業数が多くて職員も大変だと思うが、計画的に且つ予算も確保しながら進めてほしい。</p> <p>委 員) ミュオンニコーフンクラブに興味がある。大人も参加は可能なのか。全国から人が集まりそう。</p> <p>事務局) 大人の参加が可能な講座もある。また、小学生では県外からの申し込みもある。東日本では初めての取り組みであり注目されている。</p> <p>会 長) 文化系の学問でも科学的な研究が進んでいる。学問の進歩を感じる。子ども達にとっても素晴らしい取り組みとなる。交流館は県内でも最も多く事業を展開している博物館であり、職員の労力も大変かと思うが健康に留意し頑張ってもらいたい。</p> <p>【結果：令和5年度の事業計画(案)】 承認</p> |
|--|--|